

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年6月16日（月）

2 確認箇所

覆土式一時保管施設（瓦礫類一時保管エリアL）（図1）

3 確認項目

覆土式一時保管施設（瓦礫類一時保管エリアL）解消作業の状況

4 確認結果の概要

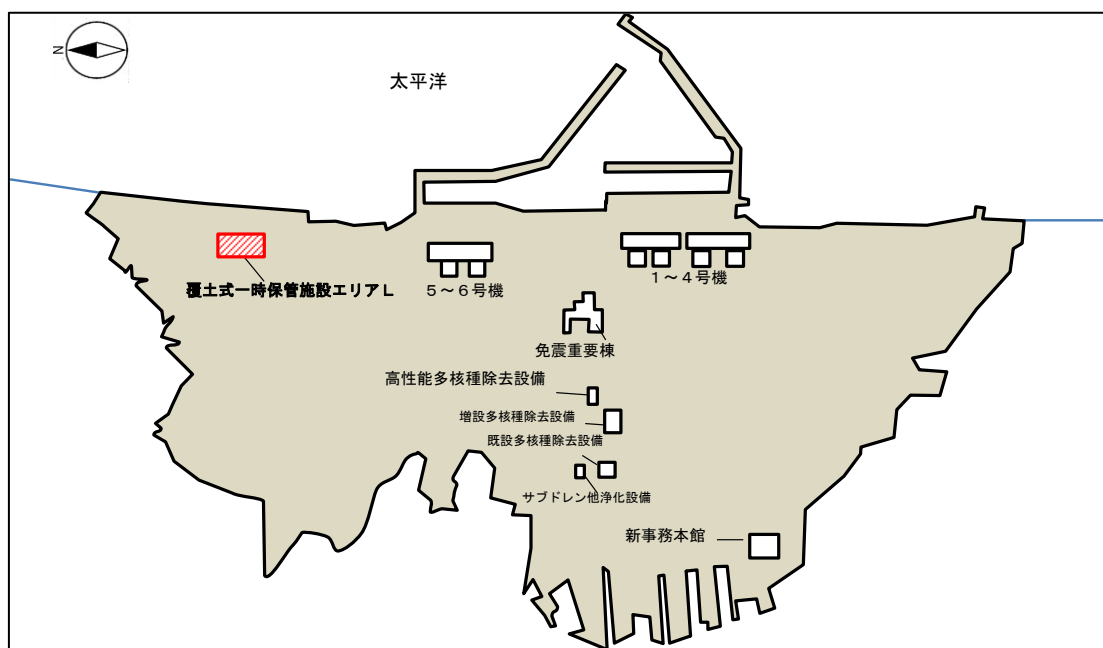
東京電力は、令和10年度中の全ての固体廃棄物（ただし水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く）の屋外一時保管解消に向け、覆土式一時保管施設※（瓦礫類一時保管エリアL）に一時保管された瓦礫類を取り出し、金属容器へ収納した後、固体廃棄物貯蔵庫での保管を計画している。

当該エリア内には、第1槽から第4槽までの計4つの一時保管槽が設置されている。第4槽において遮水シート、覆土、大型土のう等の撤去が完了し、それらの下部に保管されている瓦礫類の撤去が開始されることから、当該エリアの状況を確認した。（前回確認：[令和7年5月2日](#)）

- ・第4槽を覆うテントの設置が完了しており、前室テントもそれにつながるように設置されていた。（写真1）
- ・コンテナハウス内にはダストモニタが設置されており、テント内の各所にはサンプリング口が配置されていた。併せて、これらのサンプリング口からダストモニタに至るまで、サンプリングホースが敷設されていた。ダストモニタの指示値を確認したところ、警報設定値未満であり、異常は認められなかった。（写真2）
- ・第4槽近傍の空間線量率は0.4 $\mu\text{Sv/h}$ であった。（前回と同じ値）（写真3）
- ・第1槽から第3槽について目視で確認した範囲では、廃棄物の飛散や流出などの異常は見られなかった。

※ 覆土式一時保管施設

高線量（～30 mSv/h）の金属やコンクリート等の瓦礫類に覆土遮へいを施した一時保管エリア。



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1－1)
第 4 槽の状況



(写真 1－2)
前室テントの状況



(写真 2－1)
ダストモニタの設置状況①
※コンテナハウス内にダストモニタが設置されている。



(写真 2－2)
ダストモニタの設置状況②



(写真 2－3)
ダストモニタサンプリングホースの設置状況



(写真 3)
線量表示器の設置状況
(当日の計測値 : 0.4 μ Sv/h)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。